

第10回

金沢区青少年育成事業

塩田による塩づくり



金沢の塩田は、古文書によると観応3年(1352)室町將軍足利尊氏が称名寺長老に塩田を寄進した書状が残っており、700年も前から塩田があったことが分ります。私たちが青少年育成事業として「塩田による塩づくり」を始めたのが平成14年ですから、今年は10年の節目に当たりました。この10年を振り返ってみますと、小学校で97校、



中学校で29校、生徒数で303人と、多くの方たちと一緒に塩づくりをしてきました。そのためには準備指導等に携わるスタッフと行政の協力関係も大きく貢献しております。

さて今年も例年通り、本行事は2部に分かれて行われ、1部は7月23日(土)の「塩の道ウォーク」。金沢公会堂にて塩づくりの勉強をしてから総勢44人で、塩の道と言われた朝夷奈峠を越え、塩嘗地蔵を祀る鎌倉十二所の光触寺まで歩き、昔人の労苦を偲びました。2部は、8月7日(日)の金沢海の公園での実際の塩づくりでした。総勢50人が、畝作り・海水撒布・鹹砂の濾過・鹹水採取・煮詰め・にがり抜き等の順



で作業を行い、立派に塩を採取しました。「暑くて大変でしたが、苦勞した甲斐があり、きれいな塩が取れて本当に良かった」と参加の少年少女は明るい顔で、口々に感想を述べていました。

今年は熱中症、放射能・津波対策といろいろ気を使いましたが、お蔭様で、無事故の有意義なそして楽しい一日でした。



NPO法人
横浜金沢文化協会
編集人 野中 建吾
☎ 781-5044
発行人 後藤 政也
印刷 幸栄印刷(株)
☎ 716-3366

NPO法人
横浜金沢文化協会
通常総会

5月22日(日)、

午後1時、能見台

地区センターにて、

平成23年度総会が

開催された。司会

は白井副理事長。

会員総数132名、委

任状含め90名出席。

冒頭に後藤理事長

の挨拶の後、来賓

の橋本区長、続いて谷田部市会議員から

議員団を代表しての祝辞があった。議長に

は野中副理事長が選出され、議事録署名名人

として後藤理事長、榎本理事が選任された。

議事は次の通り。

第1号議案 平成22年度事業報告並びに

収支決算報告

第2号議案 平成23年度事業計画案並び

に収支予算案

第3号議案 役員(理事)の選任の件

辞任 生方ココ 氏家總子

就任 三浦正雄 岩方辰旺

以上、各議案とも満場一致で異議なく承認され、総会は午後2時10分閉会した。



第10回

瀬戸神社

居合道奉納演武



5月21日(土)横浜金沢文化協会の後援により、第10回瀬戸神社居合道奉納演武が行われました。特に、今回は、東日本大震災復興祈願演武会のため、亡くなられた方々の御霊の安らかなることを祈念して全員で黙祷を捧げました。続いて来賓の祝辞、高田代表の挨拶で開会式は終わり、直ちに演武に入りました。第1回目24名から始まった当会も、各流派の

先生方のご理解とご協力により、発展を重ね、当日は、九流派70名を越す盛会となりました。演武は、幼稚園児から80代の大先輩まで、日頃鍛えた技の数々を瀬戸神社の境内狭しと披露しました。圧巻は、当演武会初の銃剣道の形の演武でした。全日本銃剣道連盟の大河原先生と高田代表とによる銃対銃、銃対剣の演武は、終わった後の拍手の大きさが、全てを物語っていました。尚、当日寄せられた被災地へのご芳志と会費の一部を震災復興のために、



れた被災地へのご芳志と会費の一部を震災復興のために、

日本赤十字社を通して贈ったことをご報告し、ご協力を心から感謝申し上げます。



ランチタイムコンサート

5月16日(月)、区民ランチタイムコンサートに「街の先生」にも登録されているギタリスト、東隆幸氏が出演しました。プログラムは「アルハンブラの想い出」などのクラシックギターの名曲から「禁じられた遊び」、「ひまわり」などの映画音楽まで、幅広いジャンルの音楽を作品解説などのトークを交えて演奏。会場には横浜金沢文化協会理事長をはじめ、80部用意されたプログラムが足りなくなるほどたくさんの聴衆が集まり、お昼のひと時をギターの優しい音色につつまれて過ぎました。東氏は昨年、旧川合玉堂別邸で演奏、9月3日(土)には金沢公会堂で「潮の音」に出演など、地元金沢区での活動にも積極的に参加し、9月17日(土)には、



みなとみらい小ホールにて帰国10周年記念コンサートが企画されています。



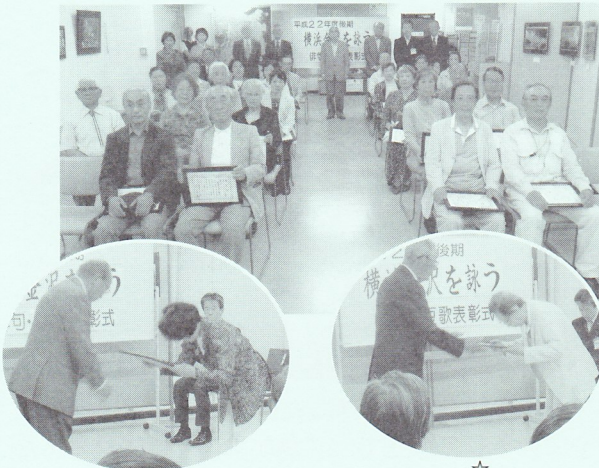
旧伊藤博文金沢別邸茶会

金沢茶道会主催の春の茶会は、5月29日(日)、旧伊藤博文金沢別邸にて開かれました。生憎の雨でしたが、120名の方が参加されました。帰帆の間からは、長い年月風雨に晒されたであろう松の木が並び、その向こうに穏やかに広がる海が眺められました。内縁伝いに続く庭には青楓が雨に打たれしっとりとした幽玄な世界を醸し出しておりました。床の間には席主のお心入れで明治生まれの裏千家先々代のお軸が掛けられ、道具組は海に因んだ取り合わせで由緒ある別邸にふさわしいお茶会となりました。

又、茶席を待つ間、館内の見学は自由で、往年の博文公を偲びつつ有意義に過ごすことができ大変好評でした。



「横浜金沢を詠う」 平成22年度後期俳句・短歌表彰式



横浜金沢俳句・短歌ボスト実行委員会主催の「俳句短歌ボスト制度」の第5回(平成22年度後期)表彰式が5月13日、金沢区民活動センターにて行われました。
次に被表彰作品を紹介いたします。

【俳句の部】

☆横浜金沢区長賞

- (天位) 玉堂の遺墨を照らす紅葉かな 江口 守雄
- (地位) 鎌倉市梶原 朱の橋と研を競ふや冬紅葉
- (人位) 金沢区東朝比奈 赤嶋 昌夫
- 耳と目のずれの楽しき遠火花
- 金沢区平潟町 中野 潤一

☆横浜金沢俳句・短歌ボスト実行委員長賞

- (天位) 野仏の欠けし肩先鼓草
- (地位) 練馬区春日町 早川 嘉恵
- (人位) 玉堂邸落葉の庭の網代垣 旭区若葉台 平 和歌子
- 青空に紅葉重なる画家の庭
- 鎌倉市寺分 久富幸紀子

☆NPO法人横浜金沢文化協会理事長賞

- (天位) 平潟の海に被さる鰯雲
- (地位) 金沢区能見台 松尾 京子
- (人位) 春隣天に背伸びの孔子木 金沢区高舟台 竹腰 康子
- 春寒く反り橋渡る影ゆれて
- 金沢区富岡東 永嶋 浩子

☆横浜金沢観光協会賞

- (天位) 春の泥拭ひ運慶展に入る
- (地位) 戸塚区鳥が丘 須藤 昌義
- (人位) 色変へぬ松も二代目二松庵 金沢区金利谷西 蛭子 雷児
- すずむしやのはな館の絵画展
- 磯子区洋光台 森上 由子

【短歌の部】

☆横浜金沢区長賞

- (天位) 運慶の像に劣らぬ仁王像
- (地位) 金沢の地の古刹を守る
- (人位) 金沢区金利谷東 秦 正子
- 児童らの夢を描きし行灯の
- 琵琶島にあふれ月の出を待つ
- 金沢区平潟町 本間 和子

☆横浜金沢俳句・短歌ボスト実行委員長賞

- (天位) 止みかけてまた降る雪に
- (地位) 白昼の博文邸は深く静まる
- (人位) 金沢区六浦南 岩澤 正春
- 晩秋のマラソン大会駆ける子の
- 未来見すえる平潟の海
- 金沢区東朝比奈重生杉本ありさ

☆NPO法人横浜金沢文化協会理事長賞

- (天位) 小春日の小柴岸壁糸垂るる
- (地位) 待つは魚信に無我の境地かな
- (人位) 金沢区長浜 柳原 米一
- 賑やかにうねり分け行く漁夫たちに
- 柴の港で手を振る母子
- 横須賀市鷹取 阿部 文彦

☆横浜金沢観光協会賞

- (天位) 真青なる空に菟のよく映えて
- (地位) 豆撒く刻を待つや瀬戸社に
- (人位) 金沢区東朝比奈 津田美奈子
- 見上ぐれば菩薩に見ゆる雲ひかる
- 好日金沢七福詣で
- 金沢区能見台 竹内 文恵

☆NPO法人横浜金沢文化協会理事長賞

- (天位) 手子神社のかたへに並ぶ庚申塔
- (地位) 「宝曆・享保」の文字も薄れて
- (人位) 金沢区泥亀 米長百合子
- 水澄める谷津川に立つ白鷺よ
- 冬陽の川底動くものなく
- 金沢区西柴 内藤 和子

文芸部活動報告

☆金沢区民俳句大会結果☆

金沢俳句会では6月5日(日)、金沢地区センターに、41人の俳句愛好者を集めて、第13回「金沢区民俳句大会」を開催しました。
次に上位の作品を紹介します。

- 節電に昭和の暮らし青簾 惣野 圭子
- ステッキの父と銀座の薄暑かな 阿彦 久枝
- ひとり居の夜はものぐさ冷奴 藤森 志津
- 震災をめぐる政局梅雨に入る 大谷 祥二
- 軽鬼の子の一羽のすであまのじゃく 北野 清市
- 森ひとつ抜け来て白し山法師 戸田 澄子
- 万緑のせめぎ合ふ山風の綺羅 山本かつみ
- 植木屋の腰手拭いや梅雨晴間 杉本 春美
- 朱の鳥居三三五五の夏帽子 西沢やエ子
- 山法師夜の雨粒ころがして 木本タイ子

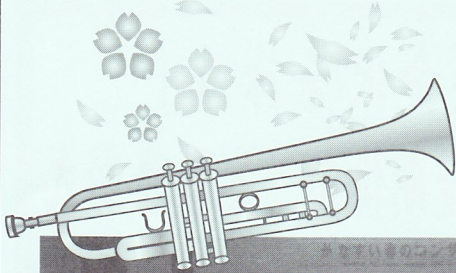
☆金沢区民短歌大会結果☆

金沢区民歌人会では4月30日(土)、八景コミュニティハウスに27人の短歌愛好者を集めて金沢区民短歌大会(春季)を開催しました。
次に上位の作品を紹介します。

- しらしらと山茶花咲く日師の君の 秦 正子
- 遺作となりし歌集届きぬ 室田 栄吉
- 砥ぎあげし包丁の刃に閃きて 一条の春の光射し込む
- ふる里の尽きせぬきづな背負い来し 小櫃 健一
- そのふる里の人々よ起て マスクしても会釈通じるうれしさよ
- 漸くこの地に根差しそめたり大江 藤村 聡子
- 平行し走りるたりし長き貨車 直線逸れて港湾線に入る
- セーターにズボン姿で寝につく わが立つ大地の揺れる怖さに佐野とめる

東北地方太平洋沖地震復興支援

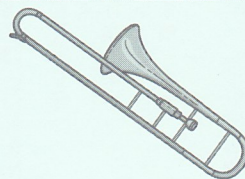
かなすい春のコンサート



金沢吹奏楽団は、4月24日、金沢公会堂にて“かなすい”50周年に感謝して「地域でもっと多くのコンサートを開催しよう」との思いから始めた「かなすいゴールデン・アニバーサリー・コンサート・シリーズ」の第3回目「かなすい春のコンサート」を開催しました。

学校や会社そして家庭で、“かなすい”の団員もまた被災地の復興を支援していましたが、“かなすい”として

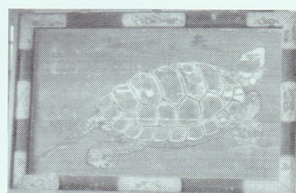
出来ることは何があるのかと考え、音楽を通じて復興支援のメッセージを送りたいと思いました。お蔭様で、ご来場のお客様にも協力頂き、横浜市が取りまとめる東北地方太平洋沖地震募金に、金沢区を通じて11万2281円をお渡しすることが出来ました。趣旨にご賛同頂き、会場での募金に快く応じて下さった皆様に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。被災地では多くの方々が命を落とされ、また今も尚、不自由な避難生活を余儀なくされている方々がおります。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、一日も早く復興できるように一緒に頑張っていければと思います。



出来ることは何があるのかと考え、音楽を通じて復興支援のメッセージを送りたいと思いました。お蔭様で、ご来場のお客様にも協力頂き、横浜市が取りまとめる東北地方太平洋沖地震募金に、金沢区を通じて11万2281円をお渡しすることが出来ました。趣旨にご賛同頂き、会場での募金に快く応じて下さった皆様に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。被災地では多くの方々が命を落とされ、また今も尚、不自由な避難生活を余儀なくされている方々がおります。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、一日も早く復興できるように一緒に頑張っていければと思います。



爽やかに晴れ上がった5月31日(火)、横浜金沢文化協会歴史部が企画した「歴史探索く浦賀地区名所巡り」に参加する機会に恵まれました。同協会理事長以下10人が、浦賀駅前に集合して、東浦賀地区から西浦賀地区の名所旧跡を隈なく巡りました。浦賀も金沢も、あの幕末に来日したペリー提督率いる黒船に密接に関係あることから、この企画がなされました。ちなみに金沢区には「アメリカン・アンカレッジ」という記念碑が建てられましたが、浦賀にはそのようなものはありませんでした。さて、巡った主な名跡を、順に案内します。先ず、人目につきにくい「水のトンネル」↓船守・津守両稲荷神社↓八雲



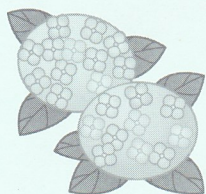
歴史探索

く浦賀地区名所巡り



(5) 平成22年9月15日

あじさい茶会



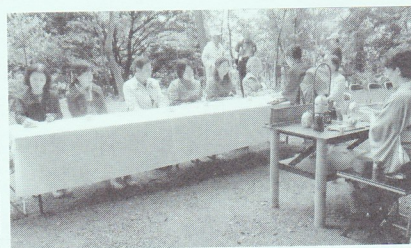
金沢茶道会では6月19日(日)、八景島客船ターミナルにて「あじさい茶会」を行いました。

会場の窓越しに見える満開の紫陽花や海の景色が茶席と一体化し、昨年まで行っていたあじさいの丘とは又ちがった趣となりました。

毎年楽しみにして下さる方も多く、あじさい茶会限定のお菓子も好評で、「ぜひまた来年も」というお声を多数頂きました。今年度は一日限りでしたが、100名以上の参加がありました。

旧川合玉堂別邸が開園されてから5年になります。恒例になりました春のイベントの野点席が5月7日(土)に開催されました。今回は金沢煎茶道会の担当で新緑の野点席に相応しい「しつらい」の中で新茶を楽しんで頂きました。茶席では歌花筒に「清淡如白雲」の短冊。お花は突抜き、忍冬、都忘れ、菜の花が活けられ、和氣藹々の雰囲気が進められました。あいにくの雨模様でしたが150人余の方に御入席いただきました。金沢区には文化財も多く、改めて地域の文化に関心が深い方が多い事を感じ入りました。お帰りになる方々の満ち足りた暖かい笑顔が何よりも嬉しく、まさに一期一会の極みの会でした。

玉堂邸茶会



テレビの時代劇でお馴染みの、徳川吉宗時代に江戸小石川葉草園境内に町民のために、病氣治療の「小石川養生所」を建設し、初代肝煎(所長)となった「赤ひげ」先生(小川箆船・またの名を雲悟子)の没後252回忌祭が、片吹の太寧寺で6月14日、箆船の末裔・元日本大学教授で工学博士の小川明様により執り行われました。

赤ひげ先生二五二回忌祭

参加者は横浜金沢文化協会・横濱金澤シティガイド協会・赤ひげ養生会・ほか雲悟子之墓の再建や養生普及等関係者の皆様でした。箆船は1725年養生所を退任し隠居所に風光明媚な金沢八景を想い、瀬ヶ崎の太寧寺近くと、六浦三艘に隠居所を構え両方を行き来していました。太寧寺は、昔は瀬ヶ崎にあり、昭和18年に現在の地に移転し、源範頼公及び赤ひげ先生(雲悟子)の墓も同時に移転されました。

畠山六郎重保公 廟所の清掃活動

今年も6月に仲間と共に「六郎さん」廟所の清掃をしました。「六郎さん」とは地元釜利谷南では畠山六郎重保公のことを、親しみをもってそう呼んでいます。また仲間とは地元町内会長・横浜金沢文化協会・横濱金澤シティガイド協会会員等です。当初は2人が鎌で草を刈っていましたが、今年は8人、刈払機2台で午前中に45kgポリ袋で50袋刈りました。22日の命日までに廟所をきれいにして霊を慰め、且つ歴史散策の方たちには廟所らしい雰囲気を感じたいと願っております。



齋藤真理恵のピアノコンサート



横浜金沢文化協会の会員であるピアニスト・齋藤真理恵さんのピアノ演奏会が、7月30日(土)、杉田劇場にて開催され、彼女は私たち聴衆を「愛の夢」の世界へ導いてくれました。ピアノの魔術師リストの知的でクールな曲を経て、ウクライナのカロリーネ侯爵夫人に捧げたとされる情熱をリストと同年代のショパンの2曲に繋げて渾身の響きをホール一杯に広げました。第2部はガラリと趣を変えて、ムソルグスキーの「展覧会の絵」をパーカッションとお話で爽やかな色づけの中で、私たちは展覧会場の絵の前へ誘われたと言う訳です。この感性と努力に脱帽！拍手が止みませんでした。



かな び きょう 第3回 金美協展の開催



金沢区美術協会は、平成23年6月28日(火)から7月3日(日)までの間、南区の横浜市吉野町市民プラザ・ギャラリーにおいて、NPO法人横浜金沢

文化協会の後援を受け、「第3回金美協展」を開催しました。前回までは、「金沢区美術協会展」としておりましたが、今回から「金美協展」とネーミングを変えることにいたしました。

同展には、99人の会員の中から49人の応募があり、81点の作品を展示いたしました。

作品の内訳は、水彩42点、油彩22点、水墨10点のほか、切絵・色鉛筆・コンテ・彫刻等で、多彩なジャンルの作品



が展示され、お蔭様で盛会裡に終えることが出来ました。

残念ながら、金沢区には、多くの区民の作品を展示するギャラリー等の公的施設がないため、他の市や区に会場を求めるなど、会場確保に大変苦労しております。しかし、私たちは金沢区に公的施設ギャラリーの創設を切望しながら、「絵を見る楽しみ」「絵を描く楽しみ」そして「絵を発表する喜び」を横浜金沢文化協会とともに保持して行きたいと念じております。



君ヶ崎ギャラリーの個展

(横浜金沢文庫郵便局内)

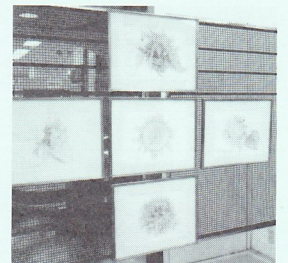
横浜金沢文庫郵便局内に、「君ヶ崎ギャラリー」が開設されており、桜井局長の依頼により、我が横浜金沢文化協会の会員にも、作品展示をさせて頂いております。今回は次の4会員の「個展」を報告します。

絵画部 江口 寿一

平成23年7月19日～29日までの間展示。当ギャラリーの設置された横浜金沢文庫郵便局に来られるお客様に楽しんでもらおうと、「横浜三溪園」・「霊峰富士」・「静物」の3点の絵画を展示しました。

絵画部 川浪 舎人

今回は3回目になりますが、今年5月に吉野町市民ギャラリーに出展した実物大30センチのヒマワリ360度シリーズを、真正面・真裏・真横など5枚で一つの作品を、8月に当ギャラリーに展示しました。



写真部 坂 直孝

平成22年12月6日～17日の間展示。昨年埼玉県西武ドームで開催された「国際バラ&ガーデニングショー」へ出向き、撮影してきた薔薇の作品(A4サイズ)を6点展示しました。なお、同会員は現在、一般社団法人「日本写真作家協会」理事です。



絵画部 三浦 正雄

同所での個展は、今回で3回目。平成23年6月20日から12日間実施。今回の作品は、東北地方・北海道への旅行中のスケッチを基に、アトリエにて描きこんだものでした。同会員は、区内で唯一の個人に解放されたギャラリーのオーナー及び関係者に深く感謝しています。

活動の種類

- 学術、文化、芸術の振興を図る活動
- 社会教育の推進を図る活動
- まちづくりの推進を図る活動
- 子どもの健全育成を図る活動、その他

活動部門

- 総合文化部
- 絵画部
- 書道部
- 写真部
- 手工芸部
- 文芸部
- 歴史部
- 楽器部
- 合唱部
- 声楽部
- 邦楽部
- 吟剣詩舞部
- 華道部
- 茶道部
- 郷土芸能部
- 謡曲部
- 民謡民舞部
- 陶芸部
- 邦舞部
- 洋舞部
- 朗読部
- 武道部
- 児童文化部
- 一般文化部

事業

- 地域文化振興の中核となる事業
- 歴史、史跡、文化財等の調査・伝承・保全事業
- その他、当法人の目的達成に必要な事業

横浜金沢文化協会の個人または団体が行う行事で、当協会の共催または後援が必要な場合は、申請書の審査により、名義使用の許可及び資金援助を年1回限りで実施しています。

NPO法人 横浜金沢文化協会 会員を募集!!

当協会は、武蔵国金沢以来の伝統をふまえ、次世代を展望しつつボランティア精神をもって、地域文化振興の中核となる事業を行い、各種の文化活動を通じて地域文化の総合的發展に寄与することを目的としています。

～金沢区に文化ホールを!!～

年会費

個人	2,000円
団体	7,500円(会員25人以下)
	10,500円(会員26人～50人)
	15,000円(会員51人以上)
	※入会金なし

募集要項

主として金沢区に居住・在勤・活動されている方で、当協会の目的に賛同し、活動またはご協力等を頂ける個人または団体の皆様。
入会及び問合せは、左記まで、ご連絡願います。

問合せ先

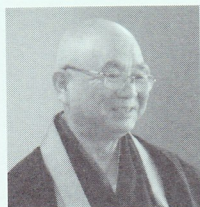
NPO法人横浜金沢文化協会
事務局長 坂(ばん)直孝
電話 045-785-6722

新顧問紹介



顧問 高井 祿郎
生まれは東京で神田で育ちました。大学まで東京で、就職とともに横浜にきました。東京

も便利だったけれども、横浜はゆつたりとした明るさが魅力ですね。ここ金沢は海あり山あり歴史ありで、とても住み易く最高です。大学、職場を通じてずっと絵のグループで活動しましたが、描くよりもいつも世話役でした。今でもそうです!!もう、仕事はお役ご免になったのですが、(財)大倉精神文化研究所、(社)横浜市レクリエーション協会、ヨコハマ映画祭等のお手伝いをして、何かと忙しい毎日です。宜しくお願いいたします。



顧問 松野 宗純
金沢区民となつて、もう50年にもなります。小田原中学校卒、陸軍士官学校61期生、慶応大学工学部、ニュー

ヨーク州レンセラー工科大学、工学博士。帰国しエッソ石油に入社、その間、M・I・Tにて経営学を学ぶ。エッソ石油副社長で定年退職し、曹洞宗の僧侶となる。石川県金沢市の大乘寺にて8年修業し、福井県武生市地蔵院の住職となる。4年前、妻の病気を機会に、地蔵院を譲り東堂(隠居)となる。並木男声合唱団にて合唱を学び、地域の文化発展のため微力ながら、力をいれていきたいと念じています。

個人会員紹介



民謡部 阿部きみえ
横須賀は追浜の出身で富岡高校を卒業し、金沢区の住民になって

7年になります。民謡好きの両親の影響を受け、小学5年生の時、オーディションを受け200人の中から選ばれた5人の中に入り、4代目ピクター少年民謡会の一員となりました。中学3年まで多くのテレビや舞台へ出演したりレコードを発売しました。21歳の時、民謡歌手「阿部きみえ」の芸名でメジャーデビューし、昨年より本格的な民謡コンサートを開始しております。



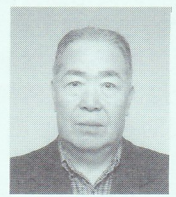
合唱部 岩方 辰旺
横浜生まれの横浜育ちの私が金沢区並木の住人になって30年になり、地元で発足した

横浜並木男声合唱団に入団して、もはや17年になりました。各種コンサートに出ている間、NHKテレビ、ラジオ、新聞等の報道で多少知られるようになりました。他方、歴史が好きで、特に横浜の百五十年を勉強しており、3年前には横浜検定2級の資格を取りました。今後横濱検定2級の資格を取りました。今後も、男声合唱団活動と、市内の歴史巡りを続けたいと思っています。

文化協会行事予定(日程順)

10月10日(月・祝) 金沢公会堂 金沢歌謡祭	10月12日(水) 16日(日) 金沢地区センター 金沢区民文化祭・区民の作品展	10月12日(水) 18日(火) 磯子区民文化センター 金沢区書道協会展	10月15日(土) 金沢公会堂 文化講演会「祖父・川合玉堂と富岡」	10月15日(土) 16日(日) 金沢地区センター 金沢区民文化祭・華道展	10月16日(日) 金沢地区センター 金沢区民文化祭・茶会	10月16日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢区音楽のつどい	10月22日(土) 八景コミュニティハウス 金沢区民短歌大会	10月29日(土) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・吟と舞の祭典	10月30日(日) 野島公園 金沢区民俳句(吟行)大会	10月31日(月) 金沢区民活動センター 俳句短歌ポスト制度第6回表彰式	11月3日(木・祝) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢三曲演奏会	11月13日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢三曲演奏会	11月19日(土) 23日(水・祝) 能登台センター 第4回金沢区美術展	11月20日(日) 金沢公会堂 金沢吹奏楽団10周年記念チャリティコンサート	12月4日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢区日本舞踊連盟公演	12月11日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢区小中学校音楽祭	2月18日(土) 金沢公会堂 文化講演会「武州金澤藩士・萩原唯右衛門」	2月19日(日) 富岡・長昌寺 南国忌の会(直木三十五)	3月下旬 野島公園 海苔づくり教室
(783) 5479	(788) 7806	(701) 4964	(781) 8665	(701) 2477	(773) 9297	(784) 1183	(782) 1055	(783) 2284	(781) 5044	(781) 5044	(781) 1483	(788) 2691	(701) 6496	090 7189 5298	(784) 4353	(771) 6167	(781) 8665	080 1040 1773	(784) 4192

個人会員紹介



歴史部 小林 績

今年4月に金沢区の住民となって4ヶ月、転居前は西湘の山と畑の小さな町、二宮町に居りました。都会の生活に慣れるには今しばらくかかりそうです。昨年まで2時間かけて二宮町から東京まで通勤しておりましたが68歳の高齢をもって職を辞しました。二宮町では総合計画や環境政策の策定、町の活性化の検討などのお手伝いをしながら趣味の郷土史、民俗史についてこつこつと調査をしておりました。金沢の歴史・民俗には以前から興味があり、楽しく勉強に努めたいと思います。



声楽部 佐伯 葉子

金沢区に生まれ育ち、湘南へも仕事に行きやすく、そして穏やかでゆつたりとした住環境のこの町を愛し、なかなかお嫁に行けません。東京芸術大学を卒業後、コールミモザの指揮者に就任したのが金沢区での最初の仕事でした。以後、コールネオマリカの指揮や金沢スプリングコンサートなど地域の皆様と共に音楽をつくり、音楽の輪を広げて行くべく日々努めております。今後も金沢の文化事業に少しでも貢献出来るよう、努力してまいりたいと思います。



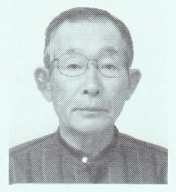
写真部 佐野 雅子

金沢区は一度住むと一生ここで暮らしたい人が多いとか。それは歴史と自然と人間の和が素晴らしいと感じているからでしょう。横浜に生まれ育ち、金沢区に在住して28年になります。その中で、教育に携わり、その後写真と出会い、写真技術と感性を磨き、日本写真作家協会の会員にもなりました。90歳を越える両親の口癖は「今出来ることは、今しておきなさい」です。私の今出来ること、それは、やはり自分の学んできたことを、写真講師として、自分の出来る範囲内で、地域の人に返すこと、また金沢区の発展と魅力を記録する手伝いをすると思っています。



合唱部 内藤恵美子

結婚して金沢区の住民となり、子供の入園を機に天使幼稚園「コールセシリア」の指揮・指導に携わるようになって今年で20年になります。一昨年、30周年の記念コンサートが行われました。育児が一段落した頃から、自身の演奏活動を再開し、現在は横浜を拠点にソロや合唱指導、音楽ボランティア等幅広く音楽活動を行っています。長年住んでいる金沢区は、山あり海ありのとても素敵な所だと思っています。金沢の文化の発展の為に微力ながらお役に立てれば幸いです。



文芸部 野中 建吾

波乱万丈の人生を紹介いたします。昭和10年、石川県小松市に生を受け、父の仕事の関係で小学校時代は朝鮮・江原道でキムチを食べて過し、終戦後は蘭船で祖国へ漂着しました。日本各地を転々とした後、ここ金沢に落ち着き、六浦中・金沢高・横浜市大(中退)の学歴の後、警視庁警察官を拝命しました。安保闘争等の警備・スパイ事件の検挙、シカゴ警察への留学等を経験した約40年後、定年退職。現在は、我が愛する町・金沢の文化の発展のために微力を尽くしています。

相川顧問 逝去謹悼

NPO法人横浜金沢文化協会顧問・相川忠久氏が、去る5月6日、ご逝去されました。享年85歳。

ここに、謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。NPO法人横浜金沢文化協会一同

編集後記

東日本大震災では、会員の皆様のご親族・ご親戚、知己に被害に遭われた方もいらつしやると思いますが、心からお見舞いを申し上げます。そして被災地の復興の早やからんことを切望しております。記録的暑さも峠を越しておりますが、皆様の益々のご健勝・ご清栄と益々のご活躍をお祈りいたします。

編集委員

- 一之瀬 焔次・氏家 総子・小櫃 健一
- 後藤 政也・佐野史瑞子・白井 俊一
- 鈴木 稔・田宮 初重・野中 建吾
- 坂 直孝・森川 淳子 (五十音順)